

【言語表現学科 国語基礎学力型】

〔一〕

問 1	1	2	3	4
	脱 (いで)	わんぱく	てんぷ	ごうご
	5	6	7	8
	万事	猛烈	頭角	しさ
問 2	屈辱感			
問 3	2			
問 4	5			
問 5	「正味 ~ される			
問 6	3			
問 7	会読とは、			
問 8	3			

〔二〕

問 1	1	2	3	4
	はんよう	宗主	口伝	文献
問 2	4			
問 3	4			
問 4	自発的な使用			
問 5	聖典			
問 6	そして、一			
問 7	4			
問 8	<p>日本で英語を公用語とすることのメリットとして、国民の英語力の上昇に伴い、日本と諸外国との間にある言語的な障壁が解消される点が挙げられる。日本国民の英語運用能力は先進国の中でも著しく低い。私は、このことが日本の文化や、ものづくりを中心とした技術力を世界にアピールする機会を縮小させ、経済発展を妨げていると考える。</p> <p>たとえば、精密な機械部品を製造する町工場などの中小企業には、世界的に見ても優れた技術力を有する企業も少なくない。こうした企業が技術力を世界にアピールし、ビジネスの機会を獲得していくためには、英語の運用能力が必要不可欠である。各企業が海外企業と直接交渉を行い、相手の希望や予算について綿密なやり取りをすることが可能になれば、各企業が保持している技術力を現在以上に有効活用することにつながる。さらに、国内の99パーセントを占めるとされる中小企業のうち、大きなビジネスの機会をつかむ企業が増えていけば、国内全体の経済の活性化にもつながるのである。</p> <p>しかし、英語を公用語とすることにはデメリットも伴う。それは、日本語の衰退に伴う「日本らしさ」の消滅である。日本人としての民族性は、日本語がこれまで構築してきた概念体系に基づいて発展してきた。言語学者ウォーフが述べるように、言語は伝達のみのために存在しているわけではない。ある言語を習得し用いることで、その言語に紐付けられた文化や考え方や生活習慣を獲得することにもなるのである。</p> <p>したがって、英語を公用語とし、日本語を用いる機会を減少させることで、日本人がこれまで培ってきた文化や生活様式、思考体系を破壊することにつながりかねない。英語を用いて日本の魅力を世界にアピールしなくてはならないのに、肝心の「日本らしさ」が破壊されてしまっは本末転倒である。このように、日本で英語を公用語とすることには一長一短があるのである。(783字)</p>			